

令和7年度「介護職員等処遇改善加算」算定の「見える化要件」について

《加算の取得状況》

- ・介護職員等処遇改善加算（Ⅱ）

《賃金以外の処遇改善に関する具体的な取組み内容》

- 入職促進に向けた取り組み
 - ・事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
 - ・職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施
- 資質の向上やキャリアアップに向けた支援
 - ・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等
 - ・上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保
- 両立支援・多様な働き方の推進
 - ・子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の備
 - ・有給休暇が取得しやすい環境の整備
- 腰痛を含む心身の健康管理
 - ・短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
 - ・事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
- 生産性向上のための業務改善の取り組み
 - ・現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している
 - ・5S活動（兼務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備
 - ・業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている
- やりがい・働きがいの醸成
 - ・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
 - ・地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実践